



わがまちみらい情報交換会

長崎大学

やってみゅーでスク・Uーサポ 活動紹介

2023年1月13日

やってみゅーでスク
学生自主企画

松浦
らしくじら

やってみゅーでスク・Uーサポとは

やってみゅーでスク

長崎大学の学生のボランティア活動を
支援している組織

Uーサポ

長崎市から委託された「学生地域連携活動支援事業」
で長崎市周辺の7大学からなる

やってみゅーでスク・Uーサポ

長崎市近郊の7大学の

学生ボランティアの支援をしています

長崎大学

長崎外国語大学

活水女子大学

長崎女子短期大学

長崎純心大学

長崎県立大学

長崎総合科学大学

やってみゅーでスク・リーサポの理念

大学生がボランティア活動を通して

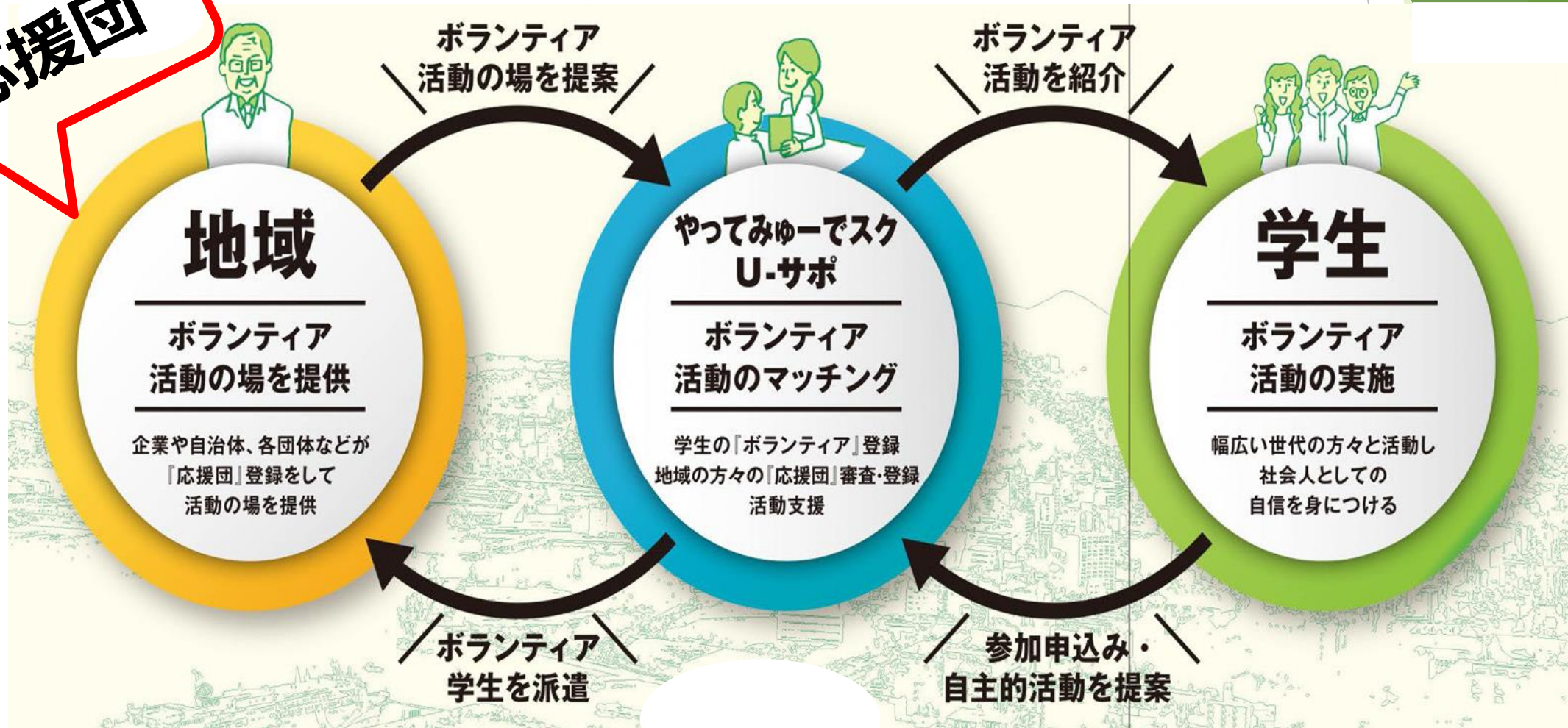
- さまざまな社会体験を積む
- 豊かなコミュニケーション力をはぐくむ



社会で幅広く通用する能力を醸成する

やってみゅーでスクでの ボランティアの流れ

応援団



ボランティアの応募方法

1. 応援団の登録

2. ボランティア企画の登録

応援団登録

ボランティア活動支援 やってみゅーでスク・U-サポ

長崎大学 学生の自主的社会的活動支援プログラム「やってみゅーでスク」
長崎市 学生地域連携活動支援事業「游学のまちdeやってみゅーで“U-サポ”」

電話: 095-819-2870

E-mail: yatemyudesk@ml.nagasaki-u.ac.jp

受付時間: 平日 AM 8:45~PM 17:30

トップ Top	やってみゅーでスクとは About us	学生登録 ボランティアに参加する How to Participation?	セミナー Seminar	ボランティア活動 Volunteer Opportunities	ボランティアを 募集する
------------	-------------------------	--	-----------------	-------------------------------------	-----------------

ボランティア活動支援 やってみゅーでスク・U-サポ

やってみゅーでスクは、
長崎市周辺7大学の学生の皆さんが
社会のフィールドにおいて
さまざまな体験を積み、
豊かなコミュニケーション力をはぐくむため、
地域の皆さまのご協力を
いただきながら運営する
ボランティア活動支援プログラムです。



サブメニュー

募集のながれ

応援団登録（団体登録）

企画登録

活動報告

ご注意

留意点

募集のながれ

- 団体登録、企画登録をお申込みいただいてから、内容確認審査を経て、登録学生への周知までは、約1週間のお手続きとなります。お時間の余裕をもって、お申込みください。
- ボランティア活動は、学生の自主性に任されています。時期・内容等の諸条件により、参加がない場合もございます。何卒ご了承ください。

応援団登録（団体登録）

STEP1 フォームに記入

申込フォームに沿って必要事項を記入し、団体の登録をお願いいたします。

STEP2 申込み

記入した用紙を、組織概要のわかるパンフレット等の資料と一緒にご提出ください。

- ・HPから直接お申し込み
- ・郵送
- ・カウンターへ来所

STEP3 登録完了

登録が完了しますと、企画のご提案をいただくことができます。

※新規登録の方は、なるべく来室をお願いいたします

応援団登録 申込みフォーム

ボランティア企画の登録方法

ボランティア活動支援 やってみゅーでスク・U-サポ

長崎大学 学生の自主的・社会活動支援プログラム「やってみゅーでスク」
長崎市 学生地域連携活動支援事業「游学のまちdeやってみゅーでU-サポ」

電話: 095-819-2870

E-mail: yatemyudesk@ml.nagasaki-u.ac.jp

受付時間: 平日 AM 8:45 ~ PM 17:30

トップ
Top

やってみゅーでスクとは
About us

学生登録
ボランティアに参加する
How to Participation?

セミナー
Seminar

ボランティア活動
Volunteer Opportunities

ボランティアを
募集する

ボランティア活動支援 やってみゅーでスク・U-サポ

やってみゅーでスクは、
長崎市周辺7大学の学生の皆さんが
社会のフィールドにおいて
さまざまな体験を積み、
豊かなコミュニケーション力をはぐくむため、
地域の皆さまのご協力を
いただきながら運営する
ボランティア活動支援プログラムです。





STEP1 フォームに記入

所定の用紙に必要事項を記入し、企画の登録をお願い致します。

※登録の前に必ずお読みください



STEP2 申込み

記入した用紙をご提出ください。

- ・HPから直接お申し込み
- ・郵送
- ・カウンターへ来所



STEP3 学生募集

企画登録が完了すると、HP・学内掲示板・メルマガなどで登録学生に周知を図り募集を開始します。

※企画の登録は、応援回の登録をされた団体様のみ行うことができます

企画登録 申込みフォーム



活動終了後に活動報告をお願いします

活動報告



STEP1 事前説明

学生・やってみゅーでスク・応援団の3者で連絡をとり、参加するボランティアについての詳細連絡、打合せをお願いいたします。



STEP2 実施

当日の活動を行います。
現場にて学生へのご指導をお願いいたします。



STEP3 活動報告

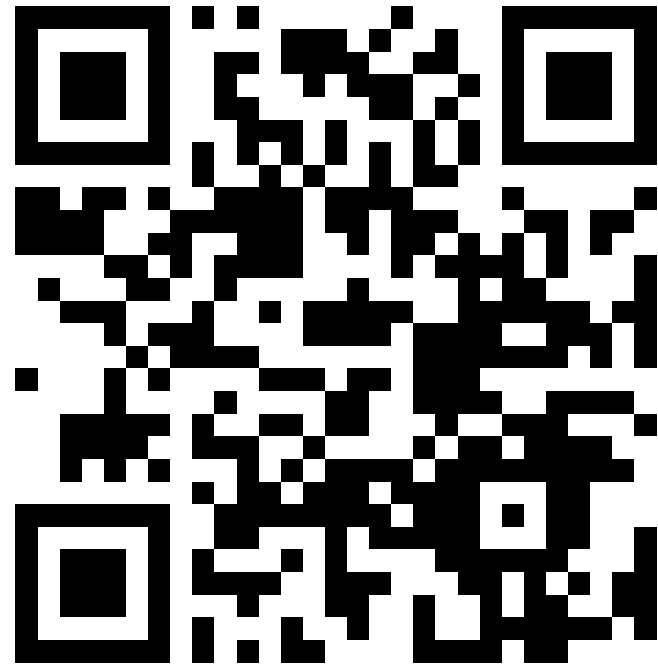
活動終了後、活動報告のご入力、ご提出を必ずお願いいたします。

活動報告 フォーム

次に

- ▶ 学生自主企画「らしくじら」の活動報告をします。
- ▶ 学生自主企画とは、学生自らがボランティア活動を企画し運営していくもの

やってみゅーでスク・Uーサポ事務局
ホームページQRコード



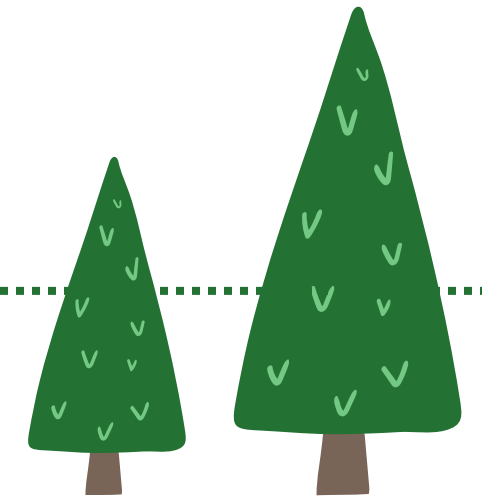


大学生×地域 らしくじらの取り組み

2023 1/13

わがまちみらい情報交換会
～人の巻き込み方のコツ教えます～

目次



01

どんな活動をしているの？

02

らしくじらとはどんな団体なのか？

03

くじら食堂の成長過程

①くじら食堂の仕組み

②広報の仕方

どんな活動をしているの？

(実際の10月のチラシ)

★ 第9回
くじら食堂

★ 10月21日 土曜日 千歳町 子ども食堂

★ 11:30~14:00
(メニュー) 手作りカレー (先着30人!)
※アレルギー対応はしておりません

(対象) 未就学児、小学生、中学生、高校生
(とその保護者)
中学生以下カレー無料、高校生以上は200円
※未就学児のお子さんは保護者同伴をお願いします。
予約不要 (5名以上の団体の方はご連絡
いただけると嬉しいです!)

場所) インマヌエル長崎キリスト教会
長崎市千歳町6-18

他にもたくさん遊べる!

絵本読み聞かせ
お菓子宝さがし
お絵描き
茶道
宿題・勉強クイズ

くじら食堂ってどんなところ?

月に一度、第3土曜日に千歳町で行っている地域食堂です
ご飯を食べて色々な遊びをみんなで楽しみましょう! 勉強・宿題も教えられます!
ふらっと気軽に遊びにきてください!

くじら食堂は、インマヌエル長崎キリスト教会さんと
らしくじらが運営する地域食堂です。

らしくじらとは長崎大学の医療系学生が2022年の9
月に設立した団体で医療を学ぶ学生が地域に入り込
み「人と人のつながり」をつくることで、誰一人取
りこぼさず、その人がその人らしく生きられる社会
をつくりたいと思い活動しています。

Instagram: RASHIKUJIRA_1010
HP

お問い合わせ先 メール: rashikujira@gmail.com Instagram: らしくじら (rashikujira_1010)

毎月開催 くじら食堂

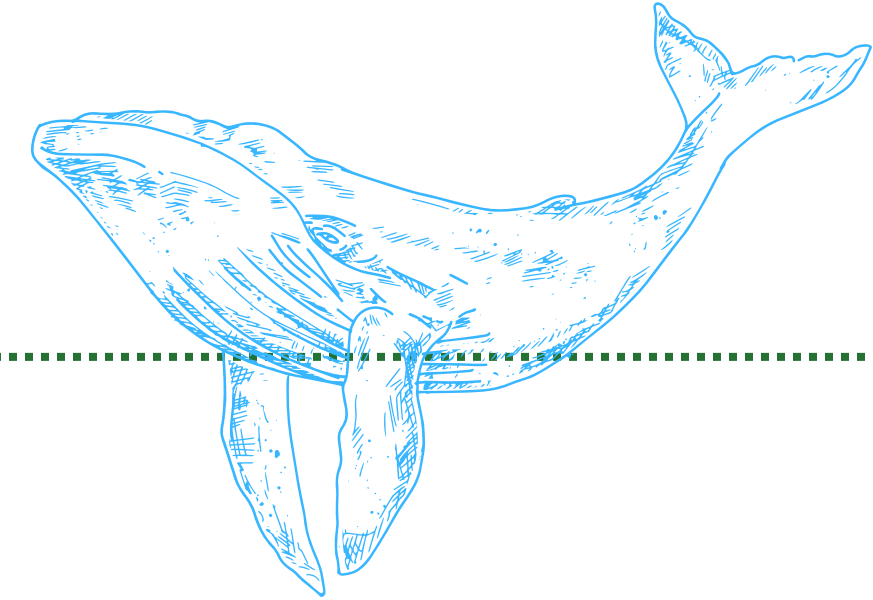
2023年 2月にスタート

毎月第3土曜日に開催

大学生、子ども、地域の人、教会の人 いろいろな人が集う中で
「温かいごはんと多世代のつながりが生まれる居場所を作りたい」
「やってみたいを形に 一歩踏み出せる場所にしたい」
そんな思いが形となった大学生が運営する子ども食堂



らしくじらの思い



ビジョン

一人も取りこぼさず、その人がその人らしく生きられる社会を作る。

ミッション

大学生が地域に入り込み、人と人のつながりを生むことで、互いに尊重し、
認め合える場、その人らしくいられる場を作る。

「支援する」のではなく、交流の中でお互いの「得意」や「やりたい」という気持ちをつなぐことで化学反応を起こす。

コアメッセージ

「私らしくあなたらしく らしさ が輝くつながりづくり」



らしくじらについて

らしくじらとは長崎の医療系学生が2022年の9月に設立した団体。
現在は学部問わずに活動しています。1年と少しの軌跡です。

名前の由来

『らしくじら』という名前は、“らしく”と“くじら”が合わさっています。
世界には52ヘルツで鳴くクジラがいると言います。しかしその鳴き声はヘルツが
違うため他のクジラには聞こえず、世界で最も孤独なクジラと呼ばれています。
そんなクジラと同じように、誰にも言えない悩みや寂しさなどを抱えて「聞こえ
ない声」を一人で抱えているひとがいます。

コロナや核家族化で、地域のつながりが希薄化しているからこそ人と人をつなぐ
大切さを感じています。そして単純に人のつながりを増やすのではなく、

「そのままの自分でいいんだ」そう思える温かいつながりをつくりたいです。



らしくじらのロゴ

当初のくじら食堂の様子



第1回の際は知り合いの放デイの子どもたちだけで地域の子どもが0人でした。
どうやったら来てくれるんだろう、、

現在くじら食堂の様子



今では毎回20人を超える地域の子どもや親御さん、大学生いろいろな人が集う場所に。

くじら食堂の仕組み



大学生

広報・企画・運営

経験が出来る

子どもたちと触れて

元気をもらえる

やりたいことを実現できる

例 絵本の読み気かせがしたい

アートのWSがしたい

茶道教室をしたい

くじら食堂



子ども食堂

みんなの第3の居場所

多世代がつながる

多様性を学ぶ

気軽な相談

やりたいを形に

地域のひと



気軽に利用

ごはんが食べられる

大学生と遊べる

子どもを預けられる

新しいことに触れられる

気軽に相談できる場



教会のひと

場所と食事の提供

教会が子どもたちの居場所になる

みんなの笑顔が見れる

多世代の交流ができる

やってみゅーでスクさんとの連携

やってみゅーでスク

物資の支援
チラシの印刷
人のつながりの紹介

くじら食堂



教会のひと

場所と食事の提供

大学生

広報・企画・運営

例 絵本の読み気かせがしたい
アートのWSがしたい
茶道教室をしたい

地域のひと



気軽に利用



今後の発展



大学生

広報・企画・運営

くじら食堂



子ども食堂

みんなの第3の居場所

多世代・多様性

気軽な相談

やりたいを形に



- ・ 地域食堂
- ・ いじめ、貧困、家庭問題
- ・ 生きづらさ



教会のひと

地域のひと



気軽に利用

場所と食事の提供

くじら食堂がどうやって地域に根ざしていったか



広報の仕方

①近隣の小学校でチラシ配り
毎月、大学生が近隣小学校で
直接手配り。

「顔と顔が見える関係性」

②SNS（インスタグラム）
できれば公式LINEをつくりたい

① 「やってみたい」「好き」 その気持ちベース

「やらなければいけない」ではなく、「やりたい」という自分の気持ちを大切にする。その方が続くし、何より楽しい。それが周りに広がっていく。

② 行動は小さく、ゆっくり成長

くじら食堂もはじめは地域の人0人でした。

チラシ配りなど、無理なくできることをしていくことで1人ずつ来てくれる人が増えていきました。

③ 自分たちの色を大切にする

どんな空間にしたいか？ 思いは？

共通認識をもつことで、目指す空間が似てきて、
接し方もかわってくる。万人受けしなくていい。
自分たちが選択肢の一つになればいい。

03

私たちが思う人の巻き込み方のコツ

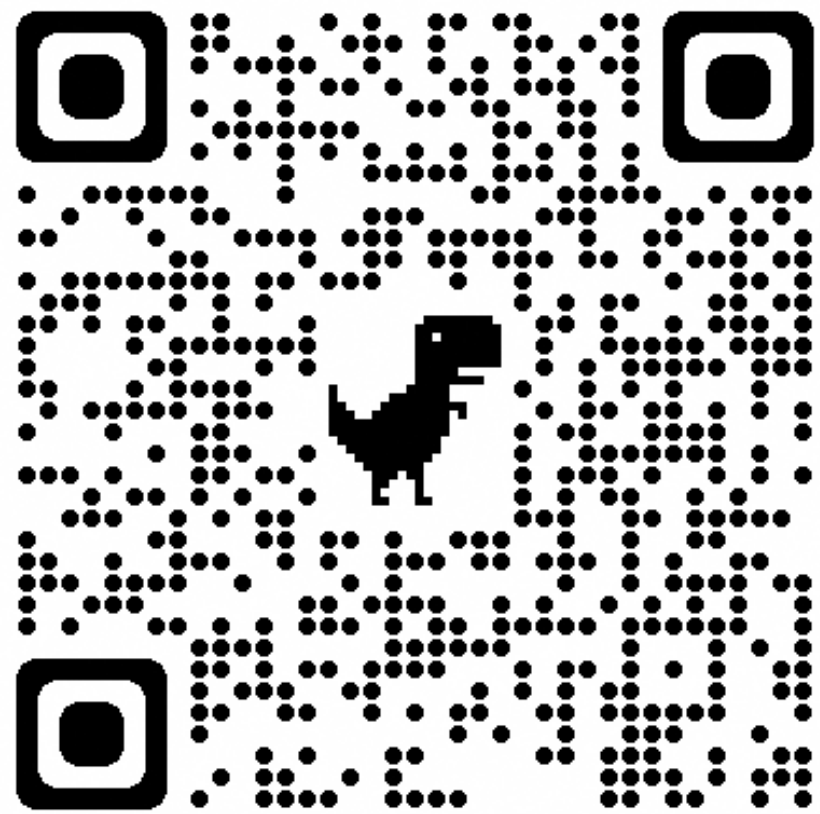
大学生と協働する

大学生の強み

行動力・夢・やりたいという思い
お金のため以外の目的で動ける

大学生が欲しているところ

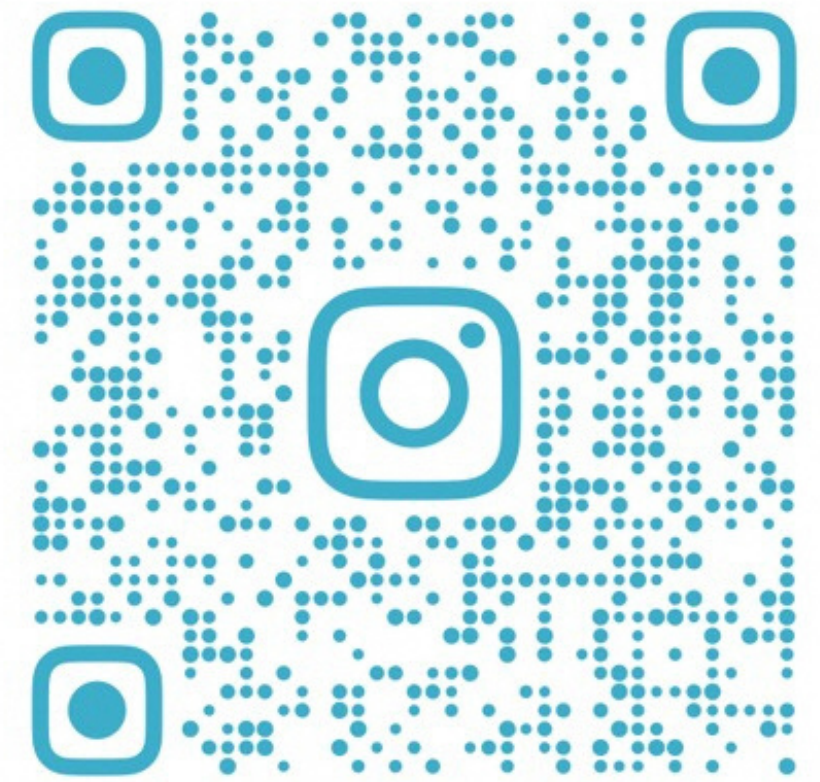
経験値（知恵）
活動のための資金や場所
地域の人との繋がり



ホームページ



らしくじら



@RASHIKUJIRA_1010

インスタグラム